特定非営利活動法人中部プロボノセンター

2024年度事業報告書

（2024年4月1日～2025年3月31日）

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人中部プロボノセンターは、企業人の持つ知識・技能・経験を適切に提供することにより、名古屋市を始めとする中部地方の非営利活動団体の事業活動をいっそう向上させることを目的とし次の事業を実施した。

（1） 定款5条1項プロボノメンバーの育成研修事業、同2項特定非営利活動団体支援 パッケージプログラムに関する事業として、大同メタル工業株式会社委託事業「大同メタルプロボノプログラム2024」を受託

（2） 定款5条6項の教育及び啓発に関する事業として、愛知県委託事業「持続可能な社会の創り手育成事業」を受託

（3） 同上事業として、半田市委託事業「若者市民協働意識醸成事業」「はたらく親を応援する団体研修事業」を受託

（4） 同上事業として、名古屋市委託事業「地域活動人材ネットワーク構築事業（プロボノ）」を受託

（5） 定款5条4項の人材及び情報等の交流、連携協力に関する事業として、プロボノバンク事業「プロボノフェス2024」「第2回ぷちプロボノセミナー&交流会」を開催。プロボノ-アラカルト活動を実施

（6） 定款5条6項の教育及び啓発に関する事業として、「外国籍の子どもたちへの日本語学習支援」の事業化を検討

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

（1） 大同メタルプロボノプログラム2024

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
◇「大同メタルプロボノプログラム2024」 地域社会の課題に取組んでいるNPO団体を資金面での助成と、社員がプロボノとして支援の企画、運営 ①支援先NPO募集→募集説明会：5ヶ所＆オンライン （犬山市、小牧市、一宮市、各務原市、可児市） ②選考委員会は社内事務局を中心に開催 応募団体は、規定のフォーマットに沿ってプレゼン 選考委員：5名 大同メタル工業㈱プロボノ推進部会　4名 中部プロボノセンター　戸成顧問 ③キックオフ、プロボノ＆NPO合同研修 ・講師：戸成顧問 ・研修内容：プロボノ入門 問題整理（3C分析・SWOT分析） 実践（各チームで問題整理） ④NPO団体支援プログラム プロボノ7名は2チームに分かれ団体を支援 団体の活動場所やネットを活用してミーティング実施 ◇中間報告会 進捗状況の確認とNPOから助成金活用申請 ◇最終報告会開催 各チーム毎に活動結果と感想を会社幹部の前で支援結果の発表 プロボノの所属上司はオンラインにて参加 ■NPO法人ゆめはーとチームのゴール SNS運営のルール作り、学生ボランティア募集、ボランティアに関する仕組み作りを行うことにより、長期成果と目標ビジョンの達成を目指す。 ■地球子ども村@コミュニティナースチームのゴール 団体の「知ってもらう」を増やす。（対市民） 活動をわかりやすく言語化する。	◇実施期間：2024年6月～2025年2月 ◇対象地区：愛知県尾張地区、岐阜県中濃地区 ①募集期間：6月～7月17日 説明会参加団体数：6団体(5か所、オンライン) 募集団体数：2団体 ②選考委員会 （オンライン） ・開催日時：7月30日(火)14:00～15:15 ・応募団体数：7団体 ・決定団体：2団体 ・NPO法人ゆめはーと（名古屋市） ・地球子ども村@コミュニティナース（犬山市） ③キックオフ、プロボノ & NPO 合同研修 ・開催日時:9月26日(木)9:30～12:00 ・研修場所：犬山事業所　紀望館大会議室 ・参加人数：20名（プロボノ7名、アドバイザー3名、NPO団体　2団体、5名 事務局　5名（内大同メタル工業㈱3名）） ④NPO団体支援プログラム ・期間：2024年9月～2025年2月 ・NPO法人ゆめはーとチーム：4名 ・地球子ども村@コミュニティナースチーム：3名 ◇中間報告会 ・開催日時：11月26日(火)14:30～16:30 ・場　所　：犬山事業所紀望館大会議室 ・参加人数：19名（プロボノ7名、アドバイザー3名、NPO5名、事務局4名） ◇最終報告会 ・開催日時：2月24日（月）9：30～11：30 ・場所：犬山事業所 WING21 会議室、オンライン ・参加人数：21名（常務取締役3名、プロボノ7名、アドバイザー2名、NPO5名、事務局4名） ◇アンケートによる満足度調査 （4点満点） NPO団体；3.8点　プロボノ；3.43点	616

（2）愛知県委託事業「持続可能な社会の創り手育成事業」

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
◇目的 社会課題の解決に取り組むNPOに対して、SDGsの普及促進を図ることにより、NPOの活動の可能性を広げる。また、NPOと、SDGsに取り組む企業や大学等との協働を促進することで、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていく、持続可能な社会の創り手の育成へとつなげていく。 ◇内容 ①SDGsセミナーを岡崎会場、名古屋会場にて開催 ※事前にチラシで参加者募集、当日はオンライン配信 ・「持続可能なNPOに向けて価値創造戦略を考える」と題し、未来から選ばれるNPOになるために、変革期の今、新たな視点で企業との協働を考えよう、と講義 ②NPOアワードに参加するNPOの選考委員会 委員は事前に資料にて基準に合わせて審査し、全員の総意で応募13団体から8団体を選定 ③NPOアワードに向けてプレゼン研修を実施 ・集合研修：選定8団体と選外の希望団体を対象に企業にとっての協働の有効性やプレゼンスキル、効果的な資料作成方法をオンラインにて講義 ・個別プレゼン研修：選定8団体対象（2回/団体）事前提出のプレゼン資料を添削し、実習指導 ④NPOアワード（審査まで）を名古屋にて開催 ※事前にチラシで参加者募集、当日はオンライン配信 ・選定8団体によるプレゼン発表 ・上記発表者と参加県民との意見交換 ・発表と意見交換から最も共感した団体に県民が投票 ・協賛企業と学校によるSDGsの取組事例紹介 ・投票結果および審査員の審査結果にて寄附金決定 ⑤NPOアワード（寄附金贈呈式等）をSDGs AICHI EXPO 2024 メインステージ（Aichi Sky Expo）にて開催 ・協賛企業、学校、令和5年度協働したNPOと大学の取組事例紹介 ・NPOアワードの結果発表と寄附金贈呈 ・住友理工株式会社賞、愛知株式会社賞受賞団体によるプレゼン発表 ⑥NPOでの実地体験 NPOアワード住友理工株式会社賞、愛知株式会社賞受賞団体へ県民の希望者が訪問し、NPO活動を実地体験することで、社会参画・社会貢献について考える。 ⑦結果報告書の作成および送付 上記実績をとりまとめ、参加者の声も載せた結果報告書を作成し、関係各部署へ送付	◇実施期間：2024年6月～2025年3月 ①SDGsセミナー 講師：戸成 司朗 顧問 ・7月14日（岡崎市図書館交流プラザ） 参加12名（会場9名、オンライン3名） ・7月28日（ウインクあいち） 参加29名（会場19名、オンライン10名） ②選考委員会 ・8月19日（日本陶磁器センタービル） 選考委員6名：新海 洋子氏、山崎 恵美子氏、協賛企業2社各1名、愛知県1名、戸成顧問 ③プレゼン研修 講師：戸成顧問 ・集合研修：8月25日（オンライン） ・個別研修： 9月12日（岡崎市図書館交流プラザ） 9月13日（ウインクあいち） →フォロー：9月23日、9月25日（オンライン） 集合研修参加：9団体（選外3団体を含む） ※選定団体の内2団体は後日アーカイブ視聴 個別研修参加：8団体 ④NPOアワード（審査まで） 9月29日（ウインクあいち） 参加37名（会場32名、オンライン5名） 司会進行：原田さとみ氏 審査員5名：泉川雅子氏、古澤礼太氏、協賛企業2社各1名、愛知県1名 審査ファシリテーター：戸成顧問 ・取組事例紹介 企業：住友理工（株）、愛知（株） 学校：中部大学春日丘高等学校 【発表者との意見交換】 ⑤NPOアワード（寄附金贈呈式等） 10月12日（Aichi Sky Expo）参加約40名 司会進行：原田さとみ氏 ・取組事例紹介 （企業と学校は④に同じ） 協働：NPO法人とこっ子と日本福祉大学 ・寄附金：住友理工（株）、愛知株より各30万円 【参加者集合写真】 ⑥実地体験 ・NPO法人Smiley Dream 開催日：12月22日　参加者：3名 活動内容：ホームビジター養成講座の受講 ・NPO法人いるから 開催日：2月2日　参加者：8名 活動内容：性教育受講や体験ブース参加 ⑦結果報告書 表紙、裏表紙含め全30ページの冊子を420部作成 【報告書表紙】 	5,527

賞	団体名	寄附金額
住友理工株式会社賞	NPO法人いるから	150,000円
愛知株式会社賞	NPO法人Smiley Dream	150,000円
入賞	親子コミュケの会	50,000円
入賞	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊	50,000円
入賞	NPO法人Grow & Leap	50,000円
入賞	0_COLOR	50,000円
入賞	NPO法人てんぱくプレーパークの会	50,000円
入賞	ねんねサロン岡崎	50,000円

(3) 半田市委託事業「若者市民協働意識醸成事業」、「はたらく親を応援する団体研修事業」

<table>
<tr><th>具体的な事業内容</th><th>実施時期・場所・人数</th><th>事業費
（千円）</th></tr>
<tr><td>

1.「若者市民協働意識醸成事業」

◇目的
次世代を担う若者世代（大学生）を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ること
◇団体募集から決定まで半田市が実施をし、選ばれた下記3団体に対して、プレゼン研修～授業実施～まとめまでを行った
・NPO法人インクルーシブダーツクラブ
・知多半島日本ミツバチ愛好会
・一般社団法人はんだのたね

①ファンドレイジング、プレゼンテーション全体研修

<table>
<tr><th></th><th>内容</th><th>講師</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ファンドレイジングとは
事例紹介、自団体の整理</td><td>山崎 恵美子氏
（日本ファンドレイジング協会東海チャプター）</td></tr>
<tr><td>2</td><td>共感するプレゼンテーション
「伝える」から「伝わる」資料づくり</td><td>別所 大介氏
（NPO法人中部プロボノセンター）</td></tr>
</table>

②プレゼン個別研修
１団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に実施

③「学！コラボ2024」開催
・社会課題に取り組むNPOや市民協働について講義
・参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
・学生によるグループ討議→共感したNPOに投票
・投票結果報告（投票数、協賛金）→協賛金贈呈
・NPOからお礼のことばと協賛団体からのメッセージ
・学生による選定理由の発表（代表）
・NPOと学生の意見交換（投票先NPOと投票した学生）

<table>
<tr><th>団体名</th><th>人数(人)</th><th>協賛金(円)</th></tr>
<tr><td>一般社団法人はんだのたね</td><td>12</td><td>50,000</td></tr>
<tr><td>知多半島日本ミツバチ愛好会</td><td>9</td><td>30,000</td></tr>
<tr><td>NPO法人インクルーシブダーツクラブ</td><td>7</td><td>10,000</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>28</td><td>90,000</td></tr>
</table>

</td><td>

◇実施期間：2024年7月～2025年2月

◇対象大学：日本福祉大学
（健康科学部福祉工学科）

①ファンドレイジング、プレゼンテーション全体研修
・開催日時:8月21日(水)14:00-16:00
・研修場所：オンライン(zoom)
・参加人数：3名(3団体)

②プレゼン個別研修
・開催日時：9月11日（水）14：00～17：00
・開催場所：半田市市民交流センター
・講師；別所大介氏
（中部プロボノセンタースペシャリスト）
・参加団体：3団体　9名

③「学！コラボ2024」開催
・学校名：日本福祉大学
・参加者：健康科学部福祉工学科
2年生、3年生、4年生　28名
日時：10月1日（火） 13:35～15:05
場所：日本福祉大学半田キャンパス104教室
協賛団体：有限会社はなふく（半田市新宮町）
株式会社アグメント（阿久比町）
株式会社旭モータース（半田市旭町）
協賛金：9万円（3万円/1企業）

【講義】

【NPOのプレゼン】

【グループ討議】

【オンライン投票】

</td><td>226</td></tr>
<tr><td>

2.「半田市はたらく親を応援する団体研修事業」

◇支援先NPO：1団体（半田市で公募）
悩めるママの一歩を応援プロジェクト「なやっぽ」
◇講師：戸成顧問
◇事業の流れ：オンラインでの実施
①NPOの活動について研修
②プレゼン資料作成研修
③プレゼン研修（個別）
④プレゼンの模様を録画→YouTube用に作成→成果物
※半田市サイトにYouTube掲載し市民に共感を求める

</td><td>

◇実施期間：2024年6月～2024年9月
研修他全てオンラインで実施

◇団体名：悩めるママの一歩を応援する
プロジェクト「なやっぽ」

※ You Tube での放映期間での反応
閲覧した半田市民の約83%の共感を得た

</td><td>300</td></tr>
</table>

（4）名古屋市委託事業「地域活動人材ネットワーク構築事業（プロボノ）」

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
◇対象:名古屋市スポーツ局地域振興課 ◇参加プロボノ:5名 ◇事業の流れ:名古屋市の町内会の実態と課題解決について ①合同研修 「持続可能な町内会に向けて」 ②キックオフ 「持続可能な町内会に向けた　プロボノと名古屋市のスキル研修」 ③中間報告会 ・進捗状況、ゴールについて ・活動を進めるにあたっての困りごと ④最終報告会 ・最終報告、講評 （ゴールに対しての結果、活動の感想） ⑤オンラインミーティング　（zoom） ◇成果物:町内会のありたい姿、あるべき姿についてプロボノから名古屋市に対し提案（6件）	◇実施期間:2024年8月～2025年2月 ①合同研修（オンライン） 講師:戸成顧問 日時:8月24日（土）10:00～12:00 参加:9名（名古屋市内の町内会長1名、プロボノ4名、名古屋市2名、事務局2名） ②キックオフ 講師:戸成顧問 日時:9月28日（土）9:30～12:30 場所:名古屋市役所 参加:9名 （プロボノ5名、名古屋市2名、事務局2名） ③中間報告会 日時:12月15日（日）14:30～16:00 場所:名古屋市役所 参加:9名 （プロボノ4名、名古屋市3名、事務局2名） ④最終報告会 日時:2月23日（日）13:30～15:00 場所:日本陶磁器センタービル 参加:9名 （プロボノ5名、名古屋市2名、事務局2名） ⑤オンラインミーティング 9月～2月　約20回（20:00～21:00/回） プロボノ、名古屋市、事務局の参加可能な人	220

（5）プロボノバンク事業・・・「プロボノフェス2024」「第2回ぷちプロボノセミナー&交流会」開催

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
1. プロボノフェス2024開催 ◇プロボノ事例紹介 （中部プロボノセンター以外の事例も含む） ① パナソニックコネクト株式会社 ② ブラザー工業株式会社 ③ トヨタ自動車株式会社 ④ NPO法人G-net ⑤ NPO法人中部プロボノセンター7期生 NPO法人オフィス・マハロ　代表 ◇カードゲーム「from Me」 お金の使い方とウェルビーイングをゲームで体験！ ◇振り返りグループで共有	◇開催日時:2024年6月1日（土）13:15～16:30 ◇場所:ウインクあいち　1103会議室 ◇参加人数:44名 ◇《アンケート結果》 回答者全員が、事例紹介が参考になった、と回答 また75%が「from Me」が有意義だったと回答 	50
2. 第2回ぷちプロボノセミナー&交流会開催 ◇あなたにもデキる！あなたの思い・知識・技術で社会課題を解決 ・プロボノとは？　　など ◇コミュニケーション力を磨こう！　グループワーク ・安心感が場づくりが広がる話し方は？　　など ◇みんなでゲームしよう！　「from Me」、振り返り ・チームワークと助け合いでウエルビーイングを高める	◇開催日時:2025年2月22日（土）10:00～15:30 ◇場所:日本陶磁器センタービル　多目的ホール ◇参加人数:35名 ◇《アンケート結果》 約60%の参加者が、プロボノ活動に関わりたい（時間と内容がマッチすれば　を含む）と回答 	130

(5) プロボノバンク事業(つづき)・・・プロボノ-アラカルト活動実施 《プロボノバンク登録者数41名 *昨年に同じ》

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費(千円)
①暖輪(犬山市、学生団体) 要望:こども食堂と認知症カフェを同一場所に開所したい。会社での経理の経験や、企画書作成の経験等をご教授いただき、立ち上げから軌道に乗せるまでの支援をしてほしい。 結果:団体の実情と分析結果の見方を団体に提出した。 ②キンダーランド(各務ヶ原市) 要望:安心安全農業、子ども農業体験において、新たな農業方法を行う仲間を増やすため広報のアイデアを教えてほしい。 結果:団体の分析、ペルソナ像で将来的な視点や実感などを一緒に多方面から分析した。すでにある媒体(HPやチラシ)で強み(星三つ)や目的・背景を明確にして効果をすぐに判断しまとめて提出した。	①暖輪 ◇活動期間:2024年9月～2025年2月 ◇活動回数:8回 ◇参加人数:NPO2名、プロボノ2名 ②キンダーランド ◇活動期間:2024年9月～2024年12月 ◇活動回数:10回 ◇参加人数:NPO2名、プロボノ2名(前半3名)	0

(6) 外国ルーツの子どもたちの日本語教室支援事業を検討

3 会議の開催に関する事項

(1)通常総会

①開催日時及び場所

2024年6月24日(月)18:30～19:30 日本陶磁器センタービル5階 (オンライン)

②議題

ア 2023年度事業報告　　イ 2023年度決算報告、監査報告

ウ 2024年度計画　　エ 2024年度活動予算

オ 役員の改選について　　カ その他

(2)理事会

①第1回 日本陶磁器センタービル5階(オンライン)

・日時:2025年4月21日(月) 18:45～19:45

・議題:2024年度の活動報告、2024年度会計報告について

②第2回 日本陶磁器センタービル5階(オンライン)

・日時:2025年6月5日(木) 18:30～19:30

・議題:2024年度の活動報告、2024年度会計報告
2025年度の活動計画、2025年度会計予算

4. その他報告事項

(1)プロボノ企画ミーティング開催 *オンラインにて、日曜20:00または21:00～

・企画委員:約10名

・開催頻度:月に1回～2回程度 *テーマ内容によって開催日決定

・議題:中部プロボノセンターの活動の計画、進め方、新しい研修、事業について

(2)ホームページミーティング開催 *オンラインにて、平日10:30～

・ホームページ(IT)管理者2名、事務局2名

・開催頻度:月1回

・議題:中部プロボノセンターのホームページの以下内容について
①掲載案件、掲載内容 ②見やすさの工夫 等

以上